

週間展望・回顧(豪ドル、南ア・ランド)

August 29, 2025

豪ドル、GDP と RBA 総裁講演に注目

- ◆豪ドル、リスク回避や日銀利上げ予想で上値は重い
- ◆豪ドル、4-6 月期の GDP と RBA 総裁講演に注目
- ◆ZAR、投資資金流入や実質金利高止まりで底堅い展開を予想

予想レンジ

豪ドル円 94.50-96.50 円

南ア・ランド円 8.25-8.50 円

9 月 1 日週の展望

豪ドルは上値が重いと予想している。トランプ米大統領がクック米連邦準備理事会（FRB）の解任を発表したことで、米中銀の独立性が懸念されている。強引な政治的介入を続ける米大統領に対して、市場は一時米トリプル安で反応した。本来であれば米国の信頼が損なわれ、豪ドル買い・ドル売りが強まることになるが、リスク回避の動きに敏感な豪ドルは上値が限られそうだ。また、対円ではジャクソンホール会合での植田日銀総裁の講演がタカ派だったことや、ベッセント米財務長官が日銀に利上げを促す外圧をかけていることもあり、下値を探りやすいだろう。

来週の豪州からの経済指標は、9 月 1 日に 7 月住宅建設許可件数、9 月 2 日に 4-6 月期国際収支、9 月 3 日に国内総生産（GDP）、9 月 4 日に 7 月貿易収支が公表される。また、9 月 3 日にはブロック RBA（豪準備銀行）総裁の講演が予定されている。この中で注目されるのは、9 月 3 日に重なる GDP とブロック総裁の講演。1-3 月期 GDP は、前期比で市場予想や昨年 の 10-12 月期よりも弱い 0.2% 増という結果になった。RBA が今週発表した理事会の議事要旨で、関税の引き上げと政策の不確実性が世界経済の重しとなるため、2025 年後半から 2026 年にかけては GDP 成長率が鈍化すると予想している。4-6 月期の成長率も予想よりも低調となれば、ブロック総裁の講演内容にもよるが、RBA の再利下げ時期や、利下げ幅にも影響を及ぼす可能性がありそうだ。なお、隣国ニュージーランド（NZ）からは、9 月 1 日に建設許可件数が発表予定。

南アフリカ・ランド（ZAR）は底堅さを維持しそうだ。先週末に ZAR は対ドルで年初来高値を更新した。今週は反動もあり ZAR は対ドルで利食いが優勢となったが、ZAR 買いトレンドは対ドル、対円ともに変わらないとみている。このところ、米政権への信頼性の低下も影響してか、南アへの投資資金流入が ZAR の支えになっている。また、南ア準備銀行（SARB）が今年の利下げ路線が前回の利下げで一服となると予想していることも ZAR の支えになるだろう。南ア財務相は認めていないが、SARB がインフレ目標を実質 3% に引き下げたことで実質金利が高止まりすると予想されているほか、水道料金が 12.1%、電気料金が 10.6% 上昇しており、実際には利下げに動きにくく、ZAR の支えになりそうだ。なお、来週は 9 月 3 日に 7-9 月期南アフリカ経済研究所（BER）企業信頼感、9 月 4 日に 4-6 月期経常収支が発表予定。

8 月 25 日週の回顧

豪ドルは小高く推移。米政権に対する信頼性の低下や利下げ期待の高まりで、対ドルでは小幅に買いが優勢。対円では実需の円売りが支えた。もっとも、対ドルでは 0.65 ドルを挟んだ動き、対円では 95 円後半でレンジは限られた。また、7 月の CPI が市場予想を上振れ、豪ドル買いを促す場面があった。ZAR は買いが一服。先週末にドル ZAR が年初来安値（ZAR の高値）を更新したこともあり、対ドルを中心に利食いの ZAR 売りが散見された。ランド円も対ドルの ZAR 売りの影響で上値が抑えられた。（了）